

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 5 月 24 日(2022.5.24)

【公開番号】特開 2020-13983(P2020-13983A)

【公開日】令和 2 年 1 月 23 日(2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-003

【出願番号】特願 2019-91272(P2019-91272)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/683(2006.01)

H 0 1 L 21/3065(2006.01)

H 0 1 L 21/31(2006.01)

H 0 2 N 13/00(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 L 21/68 R

H 0 1 L 21/302101G

H 0 1 L 21/31 B

H 0 2 N 13/00 D

【誤訳訂正書】

20

【提出日】令和 4 年 5 月 16 日(2022.5.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0011

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

図 1 は、基板支持具 140 を有する例示的な処理チャンバ 100 である。処理チャンバ 100 はチャンバ本体 104 を含み、チャンバ本体 104 に蓋 102 が連結されて処理空間 112 が画定される。ガス源 116 からチャンバ本体 104 の内部へと処理ガスを供給する処理ガス入口ポート 114 が、蓋 102 を貫通して形成され得る。チャンバ本体 104 の下方では、軸 106 が開口部 110 を通過して処理空間 112 内に延伸している。軸 106 は、基板支持具 140 と連結しこれを支持する。基板支持具 140 上に基板 W が配置されて示されている。基板 W は、平面ウエハや 3 次元(3D)積層ウエハであり得る。基板支持具 140 内に設けられた電極 118 に、軸 106 を通じて電源 108 が連結されている。電源 108 は、基板 W を基板支持具 140 へチャックするために、電極 118 にバイアスをかける。一例では、基板支持具 140 は静電チャックである。

30

40

50